

# 市民環境部会 会議録

（出席者） 委 員：10 名  
事 務 局：3 名（戦略部会員：2 名、政策推進課：1 名）  
ア ド バ イ ザ ー：1 名  
ファシリテーター：1 名

（会議の内容）

## 1. はじめに

資料 1 に基づき、第 3 回まちづくり市民会議（第 2 回部会）の会議録について内容を確認し、公表に当たっての承認を得ました。

## 2. 今後の会議の進め方と計画書への意見反映について

資料 2 に基づき、第 4 回まちづくり市民会議以降の検討の進め方について事務局から説明しました。

## 3. グループワーク

「市民環境分野の課題」をテーマに、2 グループに分かれて K J 法によるグループワークを行いました。

### ■メンバー

	グループ 1	グループ 2
委員	鈴木（昌）委員、河合（克）委員、川口委員、鈴木（裕）委員	中村委員、清水委員、金原委員、安田委員、諸橋委員、長谷部委員
事務局	渡邊、江口（J P 総研）	杉浦、中川

## 4. アドバイザー総括（岩崎アドバイザー）

今日は、課題を抽出することがテーマだった。大きく分けて、課題が 2 つ出た。一つは、本来の趣旨である分野の課題である。もう一つは、手法の課題である。「市民協働とは何か」といったことで、実際には、具体的な中身に関して機能していないと、あるグループから課題として出された。この手法の課題が、これから非常に重要になると思う。極端に言えば、手法の課題がクリアされれば、何が分野であってもそれなりにうまくいくのではないかと思う。

市民協働を私の言葉で置き換えれば、リーダー論ではなくプレーヤー論である。今までのまちづくり、いわば地域振興、その中でも特にカリスマ型の地域振興にありがちだったのは、1、2 人の突出したリーダーが引っ張っていくというタイプであった。私は、これはもう古いと思っている。これから重要なのは、少数のリーダーをつくるよりも、多数のプレーヤーをつくることである。「10 人のリーダーよりも 100 人のプレーヤーをつくる」これが、市民協働の中心的な課題だ

と思う。だから、プレーヤーをつくるための事業をつくっていかなければならない。そのためには、3つくらいのポイントがあると考えた。人と組織と教育である。

人というのは、キーパーソンは誰なのかということである。私は、女性であると思う。昨年、農政課と連携しながら、認定農業者のワークライフバランスに関わるアンケート調査を行った。そこで家族経営協定がどれくらい結ばれているのか調べた結果、10%くらいであった。女性の労働力率はM字型であったが、田原市はへこむところが台形に近くなり、四角くなった。中身をみていくと、フィフティフィフティとはいえない状況があると思った。私の専門は、中山間である。そこでは、女性たちが活躍し、地域振興を引っ張っている。おそらく、既存の場からはじかれたゆえのパワーではないかと考えている。だから、キーパーソンは女性であると思う。

2つ目のポイントである組織について、校区コミュニティがこれから重要になっていくであろうと思う。田原市でも、それに近い組織ができていると聞いている。そこで、いかに異なる目的を持った組織がつながっていくのが大事である。例えば、社学連携といわれている学校と公民館と自治会をどういったかたちでつないでいくのか、あるいは、NPO団体同士の連携もあるが、NPO団体と自治会をどのようにつなげていくのか、ということである。おそらく、そういった組織のつなげかたによる摩擦や葛藤はあると思うが、うまくつながれば、プレーヤーはそれなりに育つのではないかと思う。

最後に教育である。今日も地域政策学部の学生が来ている。その学部で重要視しているのは、PBL (Project Based Learning) である。何かを学ぶのではなく、実際にプロジェクトに関わることで学んでいく手法である。これと同じことが必要になってくるのではないかと思う。例えば、「おいでん！渥美半島～」のPBLというプログラムをつくり、そこに市民が関わられるようにする。環境教育や共生教育の重要性も出ていたので、PBLを通して市民協働を推進していくような重点事業を見つけだすことが重要ではないかと感じた。

具体的な提案は次回出ると思うが、手法をクリアするような提案を期待したい。

## **5. その他**

次回開催日程は、5月10日(木)19:00からに決定しました。各委員に、ふり返しシートを配布し、会議後1週間を期限に、提出をお願いしました。

# グループ1

## 後継者問題

農家の嫁不足対策

## 協働がみえない

市の方針がみえにくい

協働体制に対し市の動きがみえない

協働まちづくりの体制がみえない。イメージがわからない

具体的な協働のイメージが明らかになっていない。例えば、道路を通すこと一つをとっても、イメージがわかりにくい

## 子どもの安全

「子ども110番の家」が有効利用されていない

## 計画について

環境共生、まちづくりの推進→内容がわからないのでいられない

男女共同参画の推進→もうなっているのではないのでは？

## 団塊世代の意志の不透明

団塊世代でも働いている人が多くて、地域活動に参加してもらえない

仕事一筋団塊世代の方の受け皿を見つけない

新興住宅地の地域活動。横のつながりが弱い

リタイアした人が、地域活動へのつながりを求めているのか

市のまとめと活動への支援が十分でない

## 交通が不便

お酒を飲んでも帰宅できない。夜の公共交通を考えるとほしい

公共交通のネットワーク化。老人福祉との関連

旧渥美、旧赤羽根。高齢者にとって公共交通が十分でない

## 雑草が多い

県道、国道の雑草対策

沿道が雑草だらけ(里親制度も浸透していない)

道路わきに草が多い

## 三河湾が汚い

三河湾の水質浄化が進んでいない。市民の目に向いていない

たい肥が川に流れてしまい、海を汚している(住民モラル)

恋路ヶ浜など海岸にゴミが多い

川の中にゴミが多い

## 民の組織が育っていない

横のつながり(団体間、市民間)が弱い。→活動が広がらない

活動支援センターが活用されていない。ネットがない

環境における横の連携が、縦のつながりに対して弱い。NPO、ボランティア組織が育っていない。行政の取り組みに問題あり

イベントを業者任せ過ぎ。市、市の団体・組織が育たない

活動の育成。まち育てができていない

環境保全対策の推進。里山、海岸等で十分でない

自然環境を守るための具体的な活動がみえにくい

イノシシ対策。被害が大きい

## 環境保全が充分ではない

幸福度

東日本のがれぎ、東北の人の気持ちはどうか

なぜトヨタの地に埋めるのか?

新しい給食センターのオーエルの電化は環境によいのか?

エネルギー問題と教育

がれき処理問題。情報と話し合い

幸福度

エネルギー。すべての生活を考えるとき

育っていますか？大人たち

組織役員の人数不足

男女共同と人材不足

組織役員の人数不足

地域コミュニケーションでの男女共同参画

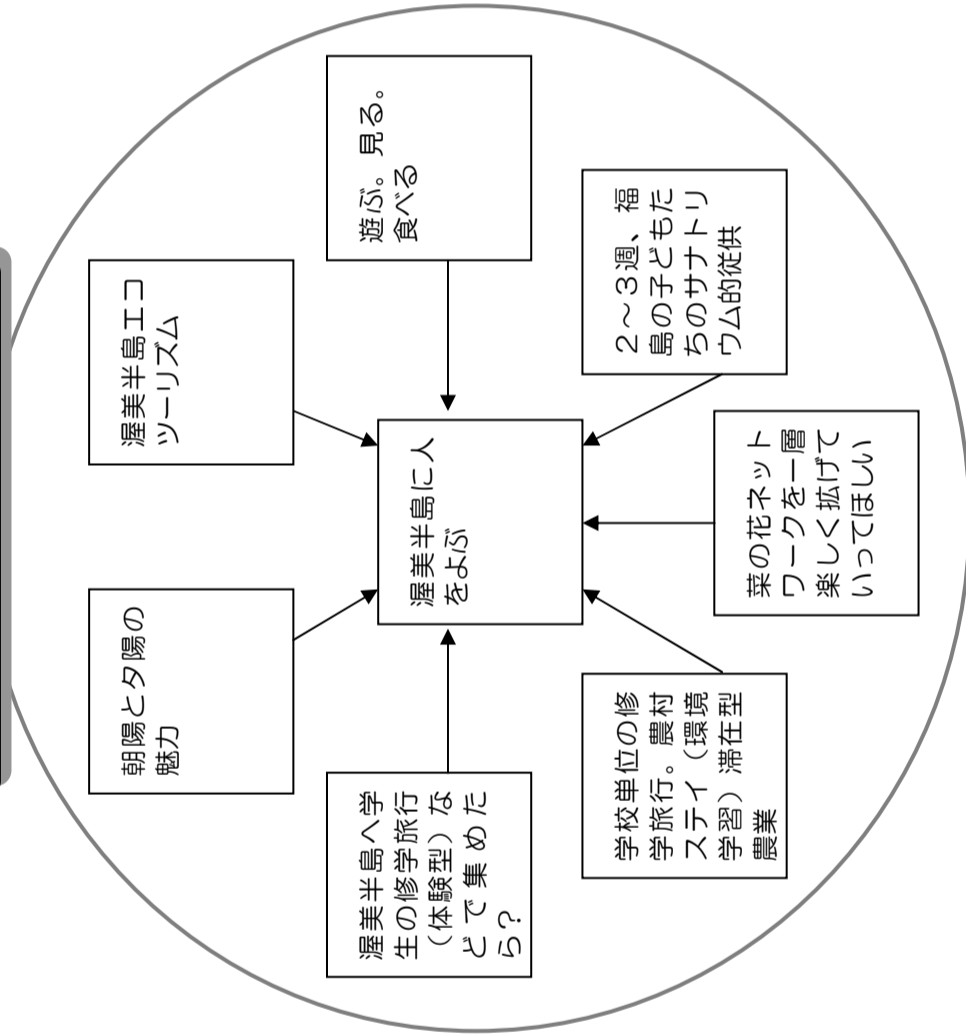
コミュニケーション役員に女性を入れてほしい

声なき声

もとは飼い犬、飼い猫だった野犬、野良猫の早期駆除と避妊手術の補助と啓発

観光客が犬を捨てる

おいでん！渥美半島～



大切なものなんですか？

中国、フィリピン、ベトナムの人たちとの共生。言葉や文化を大切にする教育と理解

性教育は、小さい頃からの適切な指導が重要であるが、マニュアル等を作成してやるだろうか

3人目の子どもが生まれたら、仕事断念する人みている

子どもが生まれながらに保育所等に依頼して、自分で育てることを選べるように

子育て支援とコミュニティ

教育委員会の現場へのサポート配慮に欠けていないか

障がいがある人も使いやすいまち。ハード面や庁舎。新しい駅前開発に当事者のチェックが入っているのか

フラットな関係 フィフティ×2

審議会等における女性委員の登用率が低い

審議会等における女性委員の登用率が少ない

審議会等における女性委員の登用率が少ない

市民会議でも女性の参加数が少ない

提案だし、行政へのかかわりを打診すべき。協働。互いにできることの種類を分け

NPO 活動と市のイベントの関わりかた

見えますか？青い海

港の水質改善

海水質の現実と環境教育

砂浜の掃除

市民のゴミ出しマナーについて、まだ理解が定着していない

河川の水質が悪い

学校の教育現場での環境教育のやり方は？海水浴は？

家畜の糞尿の処理対策について守られていない

海水質の現実と環境教育

楽しむゴミ拾いのアイディア

イベント時の公園のライトアップ。人工物の飾りはゴミにならないのか

行政の対応は？流れてきたゴミの対応は？